

平成 19 年 12 月 16 日付読売新聞掲載

若手研究者を顕彰・ウッド賞

大友・東北大助教に



物理学者らの日英交流組織「ミレニアム・サイエンス・フォーラム」（英國大使館、読売新聞社など後援）が優秀な業績を上げた若手研究者を顕彰する今年度の「サイ・マーティン・ウッド賞」に、大友明・東北大金属材料研究所助教（35）が選ばれた。

大友助教は、従来シリコン半導体で見られた「量子ホール効果」が選ばれた。

透明な半導体作製

（電子が滑らかに流れる現象）を、安価な酸化亜鉛、酸化マグネシウムなどで実現し、透明な半導体を作製した研究業績が高く評価された。

シリコンは黒光りした結晶だが、透明な半導体が実現できたことで、電子機器の液晶ディスプレーなどへの応用が広がる。電子が流れる速度も、シリコン半導体とほぼ同等という。